

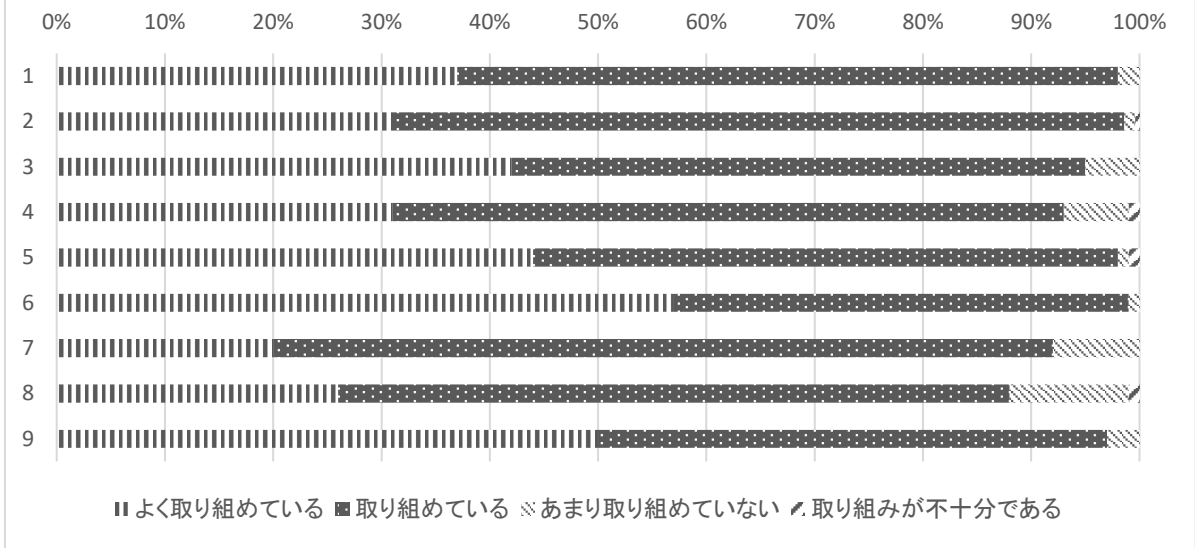
令和元年度 学校評価アンケート結果について

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。結果を報告させていただきます。いただきましたアンケートの結果を、来年度の教育活動に生かしていくように努力していきたいと思っております。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

Aよく取り組んでいる B取り組んでいる Cあまり取り組めていない D取り組みが不十分である (数字は%です)

	項目	A	B	C	D
1	<ul style="list-style-type: none"> 学校は自己肯定感を育み、学習意欲を高める授業づくりに努めている。 *生活科と総合的な学習の時間を中心に研究を進め、いきいきと伝え合い、主体的に学び合う姿を目指した授業展開を実践した。 	37%	61%	2%	0%
2	<ul style="list-style-type: none"> 学校は道徳や人権週間などの取組を通して、子どもに生命尊重や思いやりの心、差別を許さない心を育てるように努めている。 *児童人権委員会「なかよしスマイル会」の児童による取組や人権週間の取組を充実させるように努めた。 	31%	68%	1%	0%
3	<ul style="list-style-type: none"> 学校は子どもの体力が向上するように努めている。 *週一回、30分のロング昼休み「外遊びデイ」の実施 *運動委員会による「長なわとび大会・なかよしグループドッジボール大会・なかよしグループリレー大会・マラソン週間」などの実施 	42%	53%	5%	0%
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校は一人ひとりの子どもの声に耳を傾けたり、様子を見取ったりして、適切に対応するように努めている。 *少人数やTTの授業、学習サポーターによるきめ細やかな支援の実施 *支援が必要な子どものニーズに合ったチャレンジ学習（取り出し学習）の実施 	31%	62%	6%	1%
5	<ul style="list-style-type: none"> 学校は子どもたちが、協力し合い認め合う心情を育て、人間関係をより深めていけるように努めている。 *たてわりのグループによる、給食交流や全校遠足、運動会 	44%	54%	1%	1%
6	<ul style="list-style-type: none"> 学校は地域とのかかわりを意識した教育活動、地域連携に取り組んでいる。 *地域の材を生かした教材開発の実施 (例) 1年 幼保小の交流 2年 すずらん通り商店会 3年 称名寺探検 4年 泥亀新田 5年 柴漁港（アナゴ漁） 4組 シェフとの交流 6年 匠の授業での交流 *地域と共に防災体制を見直し・強化に努めた。 	57%	42%	1%	0%
7	<ul style="list-style-type: none"> 学校はいじめの早期発見、早期解決に努めている。 *生活アンケートを年2回行い、いじめの早期発見に努めた。 *「いじめ対策校内委員会」を月1回実施し、全職員で共通理解に努めた。 	20%	72%	8%	0%
8	<ul style="list-style-type: none"> 学校は「あいさつ週間」の取組などを通して、あいさつへの意識が高まるように努めている。 *あいさつポスターの作製 *子どもの運営委員会による、朝のあいさつ運動 	26%	62%	11%	1%
9	<ul style="list-style-type: none"> 学校は朝の読み聞かせや読書月間などの取組を通して、子どもの読書意欲が高まるように努めている。 *ボランティアによる読み聞かせ *図書委員会による読書週間、月間の取組 *ボランティアによるエプロンシアターなど 	50%	47%	3%	0%

学校評価アンケート結果



☆集計結果の分析

〈家庭数 320 回収数 182 割合は57%〉

○全体的な傾向としては、「評価Aーよく取り組めている」と「評価Bー取り組めている」を合わせるとほとんどが90ポイントを超えています。90ポイント以下の項目は、項目8「あいさつ」ですが、88ポイントと、90ポイントに近く、全体としてよい評価を得られています。

項目別に分析してみると、 (割合は「評価AとB」の合計です)

○項目1「自己肯定感を育み学習意欲を高める授業づくり」は、98ポイントとなっています。本校は昨年度に引き続き「～主体的に人とのかかわり学びをつくる子どもたちを目指して～」を研究テーマに設定し、生活科・総合的な時間の授業を通して、子どもたちが主体的に課題解決に取り組めるよう、授業の工夫・改善を行い、指導にあたっています。今後も研究授業を行いながら、職員一同努力していきます。

○項目6「地域連携」は、98ポイントとなっています。本校では、「社会科」「生活科」「総合的な学習の時間」の学習において、地域の教育力を生かした単元づくりを行い、教育活動に取り組んでいます。単元例で示した内容以外にも、様々な地域の施設や人々とのかかわりを通して、体験的にそして実感的に授業を実践しています。この町で暮らしていることへの嬉しさや誇りを子どもたちが感じられるように、今後も教育活動を進めていきたいと思ひます。

○項目7「いじめの早期発見・解決」は、92ポイントとなっています。本校では、前期と後期1回ずつ生活アンケートを行っています。自分自身の生活を振り返ったり、友達の様子の変化をキャッチしたりして、いじめの早期発見ができるような内容になっています。そこであがってきた事案については、児童専任と連携をとり、解決に向けて取り組んでいきます。内容によっては、「いじめ対策校内委員会」を開き、全職員で解決に向けて取り組みます。今後もいじめのない学校を目指していきたいと思ひます。

○項目8「あいさつ」は、88ポイントとなっています。昨年度に続き、全項目の中では一番低い結果になりました。子どもたちの運営委員会を中心とした、あいさつ週間の取組への評価はよいものをいただきましたが、あいさつが習慣にいたるまでには個人差があります。今後も「あいさつすることの気持ちよさ」や「人と良好なコミュニケーションをとる方法の1つ」として「あいさつ」をすることの意義を伝えていきます。ご家庭でも「あいさつ」について話題にいただき、子どもたちが進んであいさつができるような声掛けをお願いします。

